



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第148号
令和3年6月号

「心の強さを育む」



今年は例年に比べ、五月上旬頃から日差しが強く暑い日が多いように感じます。

子どもたちは、まだ暑さに体が慣れておらず、体調を崩しやすくなっています。学校では、空調を適切に使用して、子どもたちの体調管理に留意していきたいと思います。ご家庭でも、十分な量の飲料水を持たせるなど、気を付けていただけたら幸いです。

日本では、新型コロナウイルス感染症が未だに猛威をふるい、昨年夏から延期をされた東京オリンピックも無事に開催できるか心配される状況です。そんな中、多くの競技で最終予選会が開かれ、オリンピック代表選手が決定されているニュースを目にされている方も多いと思います。なかでも、競泳の池江璃花子選手が代表選手の内定を獲得したニュースには心打たれました。ご存知のように、池江選手は19年2月に白血病と診断され、約10カ月の入院生活を過ごしました。どんなにやり切れないことであろうかと心が痛みましたが、しばらくするとSNSでご自身の心境や様子を発信し始めました。その内容は常に前向きで、読んでいる私の方が勇気づけられました。退院後、初めてプールに入る池江選手の様子がニュースになりました。闘病の影響で15kg以上落ちた体重や筋力が戻り切っていませんでしたが、「自分を見てもらうことで、同じように病気と闘っている人たちを勇気づけたい。」という話をされていました。それからわずか1年余りの復活劇です。代表内定を決めたレースを泳ぎ終えた後に、「『ただいま』という気持ちで入場してきた。自分が辛くて、しんどくても、『努力は必ず報われる』と思いました。」とあふれる涙を止められず、声を震わせ話をされました。「努力は必ず報われる」。池江選手だからこそその言葉が深く心に響きました。本当に心の強い方だと敬服しました。



この心の強さはどのようにしたら育つのだろうかと考えました。「心の強さを育む」多くの人は、負けそうになる心を少しずつ鍛えていくのではないのでしょうか。できないことにチャレンジして、何度か失敗を繰り返し、次第にできるようになる。その成功体験が次へのモチベーションとなり、またチャレンジしていく。この積み重ねによって心は鍛えられるのではないかと思います。そして、その過程において何より大切なのは、周りの人たちに支えられ受け入れられているということです。チャレンジすることを認め、失敗した時にはそばに寄り添い、成功を共に喜び、時には厳しく、時には逃げ場になるような存在が必要なのです。

杭州っ子に心の強い人になってもらいたい。その支えになること、それこそが子どもの成長に携わる私たち大人の大切な役目の一つだと改めて思いました。

